

令和2年8月7日

保護者の皆様

枚方市立小倉小学校
校長 木村 勝

通知表(あゆみ)の見方について

本校では、学校教育目標(詳しくは裏面をご覧ください)に基づき、学習や行事などを行っています。学校では、いろいろな機会をとらえ、児童のがんばりを評価していますが、その評価のひとつとして、保護者の皆様に通知表(あゆみ)を学期末にお渡しし、お子さんの学校での学習や生活の様子をお知らせしています。

通知表(あゆみ)は、学校と家庭との連絡・協力のためにあり、児童のがんばりを認め、良い点や可能性を伸ばすことを目的としています。そのため、学校での学習や生活の様子を、学習指導要領に基づいた観点に沿って、児童一人ひとりが目標にどの程度到達できているかを示しています。これは、他の児童と比較して評価したものではありません(絶対評価)。児童自身が、自分の学習や生活を振り返り、今後の成長につなげられるよう、学習面だけでなく、生活の様子等全体を見ていただくようお願いします。

さて、4月に一度お知らせしていましたが、今年度より学習指導要領の変更に伴い、通知表も改訂され、枚方市共通版となります。具体的に改訂された内容は以下のとおりです。

(例)6年生の算数

よくできる/できる/もう少し

<昨年度までの通知表>

算数	関心・意欲・態度	算数の学習に関心を持ち、意欲的に取り組む。			
	数学的な考え方	学習したことをもとに見通しを持ち、すじ道をたてて考える。			
	数量や図形についての技能	円の面積を求める。			
		分数のかけ算をする。 分数のわり算をする。			
知識・理解	対称な図形の意味や性質がわかる。				

※観点別(左端の項目)に合わせて、単元(学習内容)別の評価(右側の評価項目)があり、単元ごとの学習状況を記載し評価します。

よくできる/できる/もう少し

<今年度からの通知表>

算数	知識・技能	算数の学習を理解し、日常の事象を処理する技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	筋道を立てて考える力、発展的に考察する力、数学的に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	算数の楽しさやよさに気付き、問題を解決したり、学んだことを活用しようとする態度が身に付いている。			

※学習する単元に大きな変更はありませんが、単元での学習内容を、全学年・全科目において共通した観点別(左端の項目)に整理され、新学習指導要領で示されている「育成すべき資質・能力」(右側の評価項目)に基づいて総合的に3つに分けて評価します。

「知識・技能」及び「思考・判断・表現」は、主にペーパーテストを基準にして評価します。
「主体的に学習に取り組む態度」は、主に成果物（ノート、ワークシートや作品）、学習に取り組む姿勢や発言などの様子を総合的に判断し評価します。

また、「特別の教科 道徳」（全学年）、「総合的な学習の時間」（3年生以上）、「外国語活動」（3、4年生）につきましては、今まで学期ごとに評価を記載していましたが、子ども達の成長を長い期間で見取った大くりな評価となるため、学年末のみの記述式による評価に改訂します。

今回のあゆみの改訂につきましてご理解のほどよろしくお願いいたします。

◎評価について

教科に関して（3段階評価、ただし、1年生の1学期は2段階）

「よくできる」…学年の目標に十分到達している。

「できる」 …学年の目標に到達している。

「もう少し」 …もう少しで学年の目標に到達できる。

3～6年生においては、学年末には、1年間のまとめとして、各教科の到達度を「3」（十分満足できる）「2」（概ね満足できる）「1」（がんばりが必要）の3段階で評定をお知らせします。

生活の様子に関して

特にがんばっている項目に「○」を、がんばってほしい項目に「△」をつけています。

通知表（あゆみ）は、学期ごとの評価をファイルにはさんで、お渡ししています。内容を確認後、保護者印を押してしていただき、2学期の始業式に中身を抜かずにそのまま提出ください。

「修了証書」は、3学期末に学校印を押印し、ファイルに入れます。

学校教育目標

- ・よく考える子ども……………基礎基本の力を身につけ、
すすんで学び、行動する子ども
自分で考えて、判断できる子ども
- ・おもいやりのある子ども…自他共に大切に、協力しあう子ども
身近な人権問題に目を向け、
解決に向けて実践できる子ども
- ・たくましい子ども……………心身共に健康な子ども
最後までねばり強くがんばれる子ども